

# 2024 年に向けて

## 年頭のごあいさつ

特定非営利活動法人社会還元センターグループわ 理事長 桜間 茂

グループわ の会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。2024 年の初春を健やかに迎えられる事と存じます。日頃はグループわ の活動にご理解、ご支援を賜り、ありがとうございます。

昨年 10 月 29 日、しあわせの村での共催イベント「ビバ！ハロウィン」において小学生児童にけがを負せる重大な事故が発生しました。ご本人ならびにご家族・関係者の皆さまに深くお詫び申し上げますとともに、一日も早いご回復を祈念申し上げます。

また当該イベントにご協力いただきましたグループわ 会員の皆さまにもご心配とご迷惑をお掛けしましたこと謹んでお詫び申し上げます。

日常のボランティア活動は、昨年来よりコロナの感染状況も落ち着き、学校園も含めて区会・部会の各グループにおいても、以前のように活発な活動に戻りつつあります。今後とも地域に根差したボランティア活動を着実に安全・安心を最優先としながら推進してまいります。

本年は、グループわ にとっての喫緊の最優先課題である「イベント事故の再発防止策の実践」および防止策に基づいた「安全・危機管理マニュアル策定と教育」、グループわ の組織的な懸案事項である「財政改善」、「区会活性化」等、解決すべき問題が大変多く待ち構えております。これらを皆さまとともに一つ一つ取り組んで行く所存ですので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年会員の皆さまとご家族にとって、健康でしあわせな年となりますよう、祈念いたしまして私の年頭のごあいさつといたします。



区会長（須磨区会） 梅田孝一

新年明けましておめでとうございます。

最近のグループわ 各区会長には、持続可能な区会運営が難しくなっているとの共通認識があります。会員の高齢化が進みかつ減少傾向にあり、区会活動に積極的な会員が特定の人に限られて来たようです。従い、昨年からの区会活性化への取組が議論されています。団塊世代が後期高齢者となるいわゆる 2025 年問題を目前に控え、高齢者を取り巻く社会環境に変化があり私どもの生活スタイルが多様化している事情がその背景にあると考えられます。グループわ における区会の役割について、会員の皆さまのご関心を集めながら見直す時機にあるのかも知れません。地域に密着したボランティア活動もさることながら、身近な地域でのつながり活動の重要性が高まっているようです。「人は年を重ねるだけでは老いませぬ。人生の理想・目標を失った時に初めて老いが来ます」88 歳となった今も活躍するある女性の言葉に心が動かされます。行動範囲が狭くなる高齢者に、区会がそうした活躍の場を提供するところに役割があるような気がいたします。



この一年良い年といたしましょう。本年もご支援よろしく願い申し上げます。

部会長（環境部会） 米井 陽

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナも第 5 類に移行し、世の中は以前の日常生活に戻りつつあります。それに伴い環境部会所属の各グループとも、環境教育、環境保全活動、各種イベントへの参加など地域社会への貢献の機会も増えてきました。

ただ、コロナ禍でカレッジ卒業生の減少等の影響で、各グループとも新規会員の減少、会員の高齢化が課題となっています。従いまして、今年は各グループの活動の持続性の観点から、一人でも多くの会員を増やして V 字とはいかなくても緩やかな会員数の U 字回復を目指して、より活性化を図るべく努力をしていきたいと思っております。

